

# 防災TOPICS

日頃から災害時を想定し備えておくことが大切です。  
備えは安心感にもつながり、いざというときに落ち着いた行動につながる材料になります。備えを始めるのは「今すぐ」です！



備えは万全?!

## TOPIC 01 災害への備えを確認

すぐに避難できるように

### 非常持ち出し品の確認

避難する際には冷静な判断をすることが難しくなります。非常持出品や備蓄品をあらかじめ準備しておきましょう。  
非常持出品（例）  
□携帯ラジオ □非常食 □飲料水 □衛生用品 □懐中電灯 □ヘルメット等安全用品 □普段飲んでいる薬 等



\*一例です。ハザードマップ等で確認して準備を!

避難を迅速に行うために

### 避難所・ルートを確認

災害の規模や種類によって開設される避難所の数や場所が変わります。事前にハザードマップで避難ルートを確認しましょう。災害時には、市ホームページや防災メール、LINE等で避難所開設状況を確認してから避難を。



これは覚えておいて

### 揺れたら高い場所へ

強い揺れや長い揺れを感じたら、すぐに避難目標地点などのできるだけ高い場所へ。●津波は繰り返します。「警報」「注意報」の解除まで気を緩めないように。●避難に車は使わない! 渋滞に巻き込まれ被害を大きくすることも。



## ▼地震大国日本で

### その時に備える

2011年3月11日、私たちは自然災害の恐怖におののきました。それは映画の世界でもなく小説の世界でもありません。現実はこの日本で起こった災害でした。以来、私たちは改めて災害とどう向き合えばいいのか考えさせられました。

あれから12年。私たちは、自助・共助・公助という考え方で防災・減災に取り組んできました。右に紹介した地震災害の歴史を見ても、南海トラフによる大地震など自然災害は今後必ずやってきます。

これまでの取り組みを振り返りながら、改めて防災・減災について私たちが今できることを一緒に考えていきましょう。

## ▼市としての備えは

皆さんに「備え」をお願いする前に、市がこれまで地震

## ◆地震災害の歴史

- 1605年 慶長地震
- 1707年 宝永地震  
有田地方では広村などで千戸の家が流出し、死者300人
- 1854年 安政地震  
北湊で200戸浸水
- 1944年 東南海地震
- 1946年 南海地震  
辰ヶ浜では1.5mの津波で大きな被害



対策として取り組んできたことをお伝えしたいと思います。まず、住居などに関しては、

- ・住宅の耐震化やブロック塀の撤去に対する補助金
- ・地震が発生した際に倒壊する恐れがある空き家の除却にかかる費用を市独自の措置として対象を広げて使いやすくし、固定資産税軽減の特例延長などに取り組んでいます。

## ▼皆様へのお願い

それでも、市の備えだけでは不足するのが現実です。私たちも考える限りの対策はしていますが、非常時には、皆さんの備えがとて重要になります。12年がたち、日常が続いている今だからこそ、左ページを参考に、改めて今できる備えを考えてみてください。

後の復旧活動拠点となるように整備を進めています。そして、備蓄品については、市内の小中学校等に非常食約47,900食、水約33,500本、日用品、発電機、簡易トイレ等を備蓄しています。備蓄品については、市ホームページでも公開開始しますのでご確認ください。

## PICK UP

今だからこそ

# 防災・減災を考える

地震や台風、豪雨など私たちの周りには多くの自然災害のリスクがあります。今回は、地震について一緒に考えてみましょう。いつ起こるかわからない災害に対し、私たちの防災意識が問われます。自分やまわりの大切な命を守るためにも、今からできる「備え」について一緒に考えてみませんか。

問 防災安全課 Tel 22-3721



正確な情報を入手しましょう

## TOPIC 02 情報の入手手段を確認

### ●有田市公式LINE

受け取りたい情報として「防災情報」をお選びいただくと、気象情報や避難情報などを発信します。

### 被災状況報告

災害発生後には、市民の皆さんが被害の状況を報告できる画面が出ます。状況の把握のために活用させていただくことを目的としており、写真と位置情報を送信していただけます。



※いただいた情報は、被災状況により、対応を検討させていただくことになります。

### ●有田市防災・行政ナビ

防災行政無線放送のデジタル化により、アプリからも放送内容が確認できるようになりました!



Android用



iPhone用